

2026 年度福井県立大学一般入試前期「国語」問題の出題意図

第 1 問

本問は芹沢俊介『家族という意志』に基づき、文章の論理構造や著者の意図を読み取る能力を問う。

問 1 漢字問題。漢字の読み書きが正確にできるかを問う。

問 2 傍線部について説明した文の空欄を、文脈に即して補充する問題。著者の「はかなさ」という重要なキーワードの論じ方、文章全体の構造を掴むために序盤に配置している。

問 3 古文の基礎的な知識および古典語の表記理解を問う問題。いろは歌を知っているだけでなく、その内容を正しく理解できているかを問う。

問 4 本文の内容を踏まえ、古典文学に関する知識（作者・作品名）を問う問題。

問 5 後半の主題である「仏教的なはかなさ」について、本文中から端的に説明した箇所を抜き出す問題。仏教における「現世」と「後生」の関係に着目して内容を把握できているかを問う。

問 6 記号選択問題。筆者や蓮如の「はかなさ」の捉え方について、正確に理解できているかを問う。

問 7 記号選択問題。本文の論理展開を踏まえ、意味のまとまりに応じた段落構成を適切に把握できているかを問う。

第 2 問

本問は中島敦『弟子』に基づき、小説の読解能力を問う。

問 1 傍線部について説明した文の空欄を、文脈に即して補充する問題。「おかしい」という言葉に込められたニュアンスを読み取れているか、孔子の特質が一般的通念との対比において描かれていることを理解できているかを問う。

問 2 教養問題として、かつ漢文訓読の基本問題（而・不）として出題。

問 3 作中の登場人物の性格や言動を的確に理解した上で、自分の言葉で具体的に説明することを求める問題。読解力と記述力の双方を問う。

問 4 「人間の厚み」という抽象的な表現について、本文中の離れた箇所を関連づけて読み取り、その内容について具体的に理解できるかを問う問題。

問 5 前半と後半で語りの視点が変化していることを踏まえ、対応する内容を関連づけて把握し、該当箇所を抜き出すことができるかを問う問題。

問 6 記号選択問題。本文全体の内容を踏まえ、孔子と子路の関係を正しく理解できているかを問う。

※ この「出題の意図」についての質問・照会には回答しません。